

令和3年10月12日

保護者様

令和3年度全国学力・学習状況調査の実施結果について（概要）

基山町立基山中学校
校長 増田 健一

今年の5月27日(木)に全国の国・公・私立学校の小学校第6学年と中学校第3学年を対象に、「令和3年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度分の調査結果の概要をまとめましたのでお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1. 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面、新型コロナウイルス感染症等に関する調査

【教科に関する調査（国語、算数・数学）】

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

3. 生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要

(1) 特に良い傾向が見られる主な項目（「思う」と回答した割合）

- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」92.2%(全国平均81.4%)
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」81.3%(全国平均74.3%)
- ・「友達と協力するのは楽しいと思う」79.7%(全国平均65.8%)

他にも、「朝食を毎日食べているか」、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしているか」など全国平均と比較して、良い傾向がみられる項目がありました。

(2) 課題が見られる主な項目

- ・「学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に対して「2時間以上」と答えた割合29.7%(全国平均53.5%)

他にも、「家で計画を立てて勉強をしているか」、「将来の夢や目標を持っていますか」など全国平均と比較して、課題がみられる項目もありました。

【生活習慣や学習環境等に関する調査の結果より】

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」など、(1)の結果に示されているように、ご家庭での子供たちとのしっかりとした関わりのおかげで、子供たちは、心身ともに健やかに成長していることがわかりました。また、友達と協働的に学習や行事に取り組み、充実した学校生活を送っている子供たちが多いこともわかりました。

しかし、(2)の結果が示すように将来に向けての自主的・計画的な取組については、課題が見られました。学校では、今まで以上に子供たちの自主性を育む取り組みを行っていきたいと思います。ご家庭でも働くことの意義や喜びなどのお話をしていただけるとありがたく思います。

4. 教科（領域）ごとの調査結果の概要

教科に関する調査の結果〔正答数〕

	国語〔14問〕	数学〔16問〕
基山中学校	9.24問	9.44問
佐賀県	8.68問	8.96問
全国	9.04問	9.15問

(1) 国語の調査結果概要について

- ・国語全体については、全国平均よりやや高い。
- ・「書くこと」に関しては、かなり高い。
- ・「伝統的な言語文化」（古典等）に関しては、やや高い。
- ・「読むこと」に関しては、やや低く、課題が見られる。

(2) 数学の調査結果概要について

- ・数学全体については、全国平均よりやや高い。
- ・「資料の活用」、「数と式」に関しては、やや高い。
- ・「図形」、「関数」に関しては、全国平均とほぼ同じ。
- ・記述式の正答率は、全国平均よりやや高いが、35.5%と低く、課題が見られる。

【教科の調査結果より】

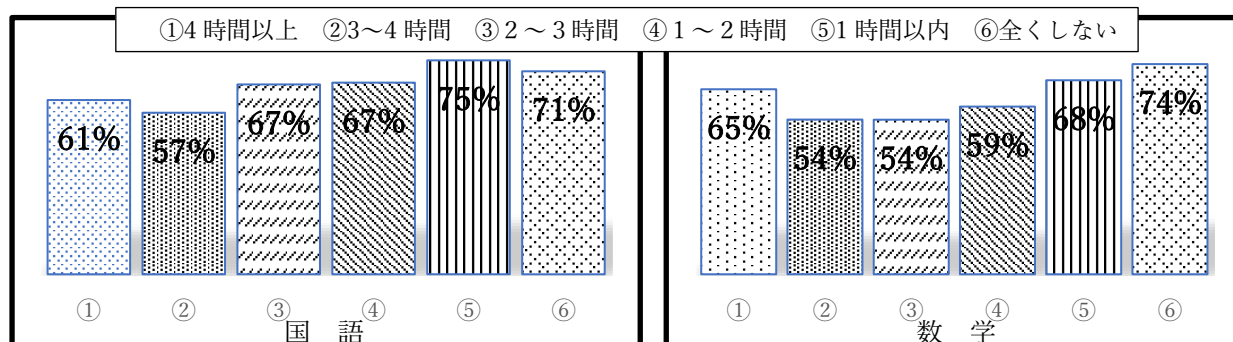
家庭学習の定着、授業改善による学習指導の工夫等の成果により、国語、数学の両教科とも、全国平均を上回る結果となりました。家庭や地域で、しっかり見守られ育てられている子供たちです。今後、一人一人の力をさらに伸ばすことができるように、子供たちの自主性や将来を見据えた計画性と実行力を向上させるために、よりよい教育を進めていきたいと考えております。

5. 基山中学校の学力向上の取組方針

- 新学習指導要領や新しい評価の研究をさらに進め、子供たちの学力向上に努めます。
- 一人一台端末等のICTを活用した学力向上のための取組を推進します。
- 子供たちが自主的に学習に取り組めるよう、授業改善をさらに進めます。

6. 保護者の皆様へ（ご家庭での協力をお願い）

以下のグラフは、「1日にするゲーム（テレビゲーム、スマートフォンなどを含む）の時間」と「各教科の正答率」を関連させたものです。



国語も数学も、ゲームの時間が短い子供の方が高い正答率になっています。これは6月末時点の平均値です。これから入試が近づくにつれて、この傾向は顕著になってくるのが毎年の傾向です。少しでも早い時期に、一日の時間の使い方について、特にスマートフォンやタブレットなどの使用時間のルールなどをご家庭でお決めになることで、子供たちの生活のリズムの安定につながるのではないかと思います。学校でもセルフマネージメント（自己管理）などの指導に、さらに力を入れていきます。